

長岡造形大学

推薦入学試験

学生募集要項

平成 29 年度

平成29年度
長岡造形大学
推薦入学試験
学生募集要項

目次

建学の理念について	3
アドミッションポリシー	3
推薦入学試験で求める人物像.....	4
募集人員	4
出願資格	4
出願期間および出願方法	4
入学検定料および納入方法	4
出願書類および記入上の注意	5
選考方法・試験科目等	6
試験会場案内	6
合格発表	7
入学手続	7
出願・受験についての諸注意	8
試験科目インフォメーション	8
初年度納付金	9
個人成績の開示	10
入学願書記入例	11
高等学校等コード表、予備校等コード表	12-21
推薦入学試験模擬問題	22-23
入学試験に関する問い合わせ	25

巻末

- ・ 個人別成績開示申請書
- ・ 推薦書
- ・ 推薦入学試験志望理由書
- ・ 推薦入学試験自己アピール用紙
- ・ 推薦入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・ 受験票等返送用封筒
- ・ 出願用封筒

個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた書類等の個人情報は、受験票や合否通知、入学手続書類等の送付、書類記載事項についての確認、その他本人および保護者への連絡、情報の伝達に用います。

またご提出いただいた情報は、本学とその業務の委託を受けた業者において責任を負うこととし、業務委託する業者とは「委託契約」を締結し、情報の管理、利用保護に努めます。

建学の理念

造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

社会の要請を的確に認識し様々な課題に対して創造的な解決策を提示するための3つの力「社会人基礎力」「構想力」「造形力」を養うことを教育の目標とします。

これらの能力の獲得を目的とする授業科目を履修し、卒業要件単位を修得した者に学士課程学位を授与します。

教育目標に掲げる3つの能力

1. 社会人基礎力

自然・人、社会・人との関わりに関心を持ち、主体的、自律的、継続的な学修ができ、論理的、多面的に物事を考え抜き、状況を判断し、責任感と協調性をもって行動できる。

2. 構想力

人と造形との関係を追究する専門的・横断的な知識を身につけ、「問題の発見、原因の究明、解決への構想、試行及び検証」を行うことができる。

3. 造形力

人・もの・自然に対する豊かな感性を備えて、「思い」を形にする伝達技術としての表現ができる。

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

- 地域・社会や企業と連携した実践的なデザインプロジェクトにより、社会人基礎力を養成する「地域・社会連携系」科目を拡充します。
- 構想力を重視したデザインプロセスを総合的に学ぶ演習・実習科目を強化します。
- 複合的な造形力修得のための横断的科目の充実を図ります。

アドミッションポリシー

社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。

推薦入学試験で求める人物像

本学の建学の理念を理解し、学修意欲を持って本学入学を強く希望する者で、学力、人物などの面で総合的な適性を持つ人物。

募集人員

学部	学科	人数
造形学部	プロダクトデザイン学科	6
	視覚デザイン学科	18
	美術・工芸学科	6
	建築・環境デザイン学科	10
計		40

※募集人員には次の優先枠があります

- 長岡市内高校在籍者枠 5人
- 専門高校在籍者枠（工業、商業、農業等の専門学科）..... 4人
- 本学の専門分野と同系統の科、コース等在籍者枠 4人

出願資格

長岡造形大学を第一志望とし、合格した場合には必ず入学することを確約できる者で、次の条件を全て満たす者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者、または通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月に修了見込みの者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 調査書における全体の評定平均値が3.5以上の者

※出願できる者は各高校2名以内

出願期間および出願方法

- (1) 出願期間 平成28年11月1日（火）～11月7日（月）※出願書類は出願期間内必着
- (2) 出願方法 出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入し、書類は本学所定の出願用封筒を使用して、必ず書留速達で郵送してください。ただし、やむを得ない場合は本学入試課に持参しても構いません。（窓口受付時間・・・8:30から17:00まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません）

入学検定料および納入方法

- (1) 入学検定料 17,000円
- (2) 納入方法

- 本学所定の用紙（振込依頼書）を使用し、必要事項を記入の上、最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関（ゆうちょ銀行を除く）から本学指定口座に振込んでください。ATMは使用しないでください。
- 払込手数料は志願者の負担となります。
- 取扱金融機関取納印のないものは無効です。
- 「振込金（兼手数料）受取書」は領収書となるので、大切に保管してください。
- 一旦納入された入学検定料は以下の場合を除き返還しません。（入学検定料17,000円から返還にかかる振込手数料を差し引いて返還します）返還を希望する場合は平成28年11月14日（月）までに本学入試課に問い合わせをしてください。

- ① 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願を受理されなかった場合

出願書類および記入上の注意

入学志願票	<p>① 巻末の用紙を使用してください。</p> <p>② 記入にあたっては、P.11「入学願書記入例」を参照してください。</p> <p>③ 氏名のフリガナの欄は、濁点「゛」、半濁点「゜」も1文字分として記入してください。また小文字も大文字として記入してください。</p> <p>④ 生年月日の欄は、1桁の場合、10の位に「0」を記入してください。</p> <p>⑤ 高等学校等コードの欄は、P.12「高等学校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。</p> <p>⑥ 学科の欄に該当する学科の番号を、右側に本学の専門分野と同系統の科・コース等に在籍している者は「1」、該当しない者は「2」を記入してください。(※2)</p> <p>⑦ 予備校等に通っていた者は、予備校等コードの欄に、P.21「予備校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。</p> <p>⑧ 住所の欄は、確実に連絡できる場所を記入してください。</p>
写真票・振込依頼書・振込金 (兼手数料)受取書	<p>① 巻末の用紙を使用してください。</p> <p>② 振込依頼書の氏名(カナ)欄に学科番号を忘れずに記入してください。</p>
志望理由書	巻末の用紙を使用してください。
自己アピール用紙	<p>① 巻末の用紙を使用してください。(必要があればコピーして枚数を増やしてもよい)</p> <p>② 写真等を貼付する場合は重ねて貼ったり、貼ったものを折ったりしないでください。</p> <p>③ 作品をそのまま貼付せず、写真等撮影したものを貼付けてください。</p>
推薦書	出身学校長が作成(本学所定の用紙を使用)し、厳封したものを提出してください。
調査書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
写真1枚	正面上半身脱帽の写真(タテ4cm×ヨコ3cm裏面に氏名を記入)で、出願3カ月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼付してください。
受験票等返送用封筒	本学所定の封筒を使用してください。郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼付してください。

※1 一旦提出された出願書類等(自己アピール用紙に貼付した写真等も含まれます)は、どのような理由があっても返還しません。

※2 本学の専門分野と同系統の科・コース等の該当者の確認について

これに該当し1(同系統の科・コース等在籍者)を記入していても、調査書で該当することが確認できない場合は、出身校が作成した科・コース等の名称が記載されている書類が必要となりますので、出願書類と一緒に郵送してください。

選考方法・試験科目等

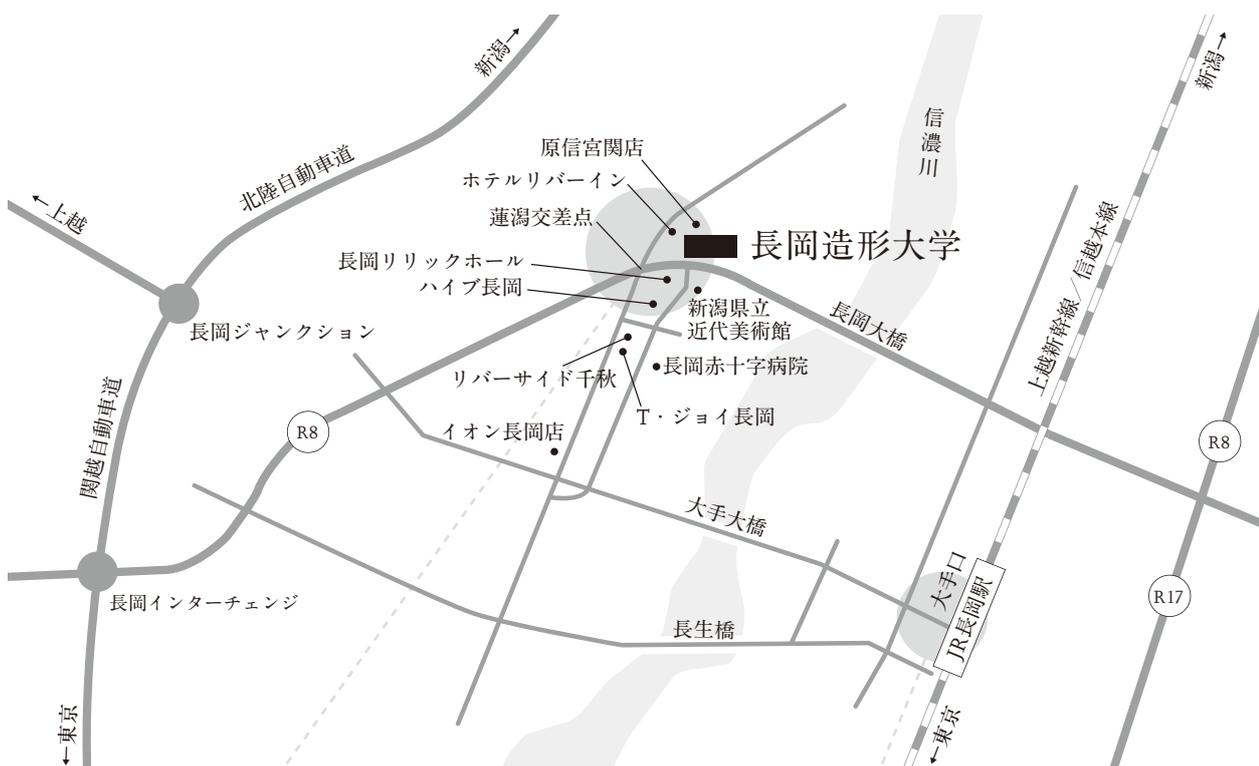
選考方法	出願書類、小論文、面接試験を総合して合否を判定します。		
試験科目	小論文、面接試験		
試験日	平成28年11月26日(土)または27日(日)のうち、大学が指定する日 試験日については、平成28年11月11日(金)までに志願者全員に通知書を発送します。	試験時間	小論文 10:00～11:30(90分) 面接 午後～(20分程度) ※昼食は各自で用意してください
集合時刻	9:30 集合		

※面接試験で自己アピール等に必要なお場合は作品等を持参してください。なお、持参する作品等は、志願者本人が一人で持ち運びでき、面接時間内に独力で提示できるものに限ります。本学では作品提示のための機器等は用意しません。

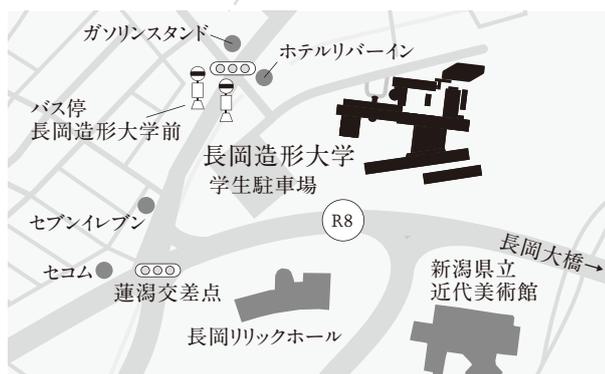
試験会場案内

長岡造形大学

アクセス 越後交通路線バス:JR長岡駅大手口2番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗車、約15分、「長岡造形大学前」下車、徒歩約1分。料金260円(片道)。



●大学付近案内



●長岡駅大手口バス乗り場



※所要時間はあくまでも目安です。

合格発表

下記の合格発表日時に、本学学生エントランスに合格者の受験番号を掲示するとともに本学ホームページに掲載します。なお、合否結果は志願者全員および出身学校長に速達郵便にて通知します。電話あるいは直接の問い合わせには一切応じません。

合格発表日時：平成28年12月9日（金）13:00（予定）

入学手続

合格者には合格通知とともに入学手続書類を送付します。下記の入学手続期間内に、入学手続時納付金を納入し、入学手続に必要な書類を必ず書留速達で郵送により手続を行ってください。

（入学手続時納付金については、P.9「初年度納付金」を参照）。

一旦納付された入学料は返還しません。

入学手続期間：平成28年12月12日（月）～12月16日（金）※入学手続期間内必着

注意事項：入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、合格者としての権利を消失するとともに、本学および他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません。（ただし、特別の事情により平成29年2月15日（水）までに本学から推薦入学試験入学辞退の許可を得た場合を除きます）
また入学手続完了後に、本学および他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

入学辞退：推薦入学試験合格者の入学辞退は原則として認められません。ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、平成29年2月15日（水）までに推薦者である出身学校長が本学学長宛に「入学辞退願」（様式自由）を提出し、その許可を得なければなりません。

なお、入学辞退を許可された者でなければ、本学および他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません。

出願・受験についての諸注意

出願について

1. 出願書類受付後の変更は認めません。
2. 下見のための試験会場への立ち入りはできません。
3. 受験票が試験日の3日前までに届かない場合は、本学入試課まで問い合わせてください。
4. 入学試験のために宿泊が必要な場合は、志願者自身で手配してください。
5. 身体等に障がいのある志願者で、受験および修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願前に十分時間に余裕を持って本学入試課に相談してください。
6. 入学願書に記載した住所に変更が生じた場合は、直ちに本学入試課に申し出てください。
7. 出願上不明な点があるときは、本学入試課に問い合わせてください。

受験について

1. 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を紛失したり、試験当日忘れた場合は、必ず係員に申し出てください。
2. 試験室への入室は、集合時刻までに行い、入室後受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机の受験番号のわきに置いてください。
3. 試験開始時刻から20分以上遅刻した場合、受験を認めません。ただし、試験当日交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により、試験開始時刻に到着できない場合には、直ちに本学に電話連絡をし、指示を受けてください。(電話番号はP.25「入学試験に関する問い合わせ」参照)
4. 試験時間中の退室は認めません。
5. 試験室には時計が設置してありません。必要な場合は各自で持参してください。ただし、携帯電話および計算機能・翻訳機能の付いた時計等の使用は認めません。
6. 昼食は各自用意してください。
7. 入学試験当日、会場付近で電報(合格通知)の勧誘や印刷物の配布等があったとしても、本学とは一切関係がありません。トラブルのないよう十分注意してください。
8. 付添者の控室はありません。

試験科目インフォメーション

小論文	試験時間 出題趣旨 出題内容 評価のポイント 志願者が持参するもの	90分 理解力、発想力、構想力及び文書表現力を見る。 出題された文章を読み、設問に従って、800文字程度の範囲内で論述する。 出題意図を正しく理解できているか 論理的な思考ができているか 着眼点や説得力に優れているか 正しい文章表現がなされているか 筆記具(HBまたはBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)
面接	試験時間 面接方式 評価のポイント その他	20分程度 個別面接(志願者1人に対し、面接官複数人) 本学への志望動機、志望する分野への理解度及びコミュニケーション能力を見る。 自己アピール等に必要の場合は作品等を持参してください。なお、持参する作品等は、志願者本人が一人で持ち運びでき、面接時間内に独力で提示できるものに限りです。

初年度納付金

【長岡市内在住者】

内 訳		入学時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		141,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		457,900 円	292,900 円	

【長岡市外在住者】

内 訳		入学時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		282,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		598,900 円	292,900 円	

※「長岡市内在住者」とは、平成29年4月1日現在において、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上長岡市内に住所を有している人をいいます。

個人成績の開示

志願者本人から申請があった場合、平成29年度入学試験の個人成績を以下の要領で開示します。

1. 開示する内容

推薦入学試験総合評価

2. 申請期間

平成29年5月8日(月)～6月30日(金) ※期間内必着

3. 申請方法

大学窓口で直接申請する方法と郵送で申請する方法があります。どちらも開示結果は1週間程度で簡易書留にて郵送します。

(1) 窓口で直接申請(申請者は志願者本人に限ります)

必要書類等を用意し、開示期間の土・日・祝・大学休業日を除く午前8時30分から午後5時までに本学の事務局窓口で申請してください。なお、事前に本学入試課まで連絡をしてからお越しください。(入試課 Tel. 0258-21-3331)

(2) 郵送で申請

必要書類等を本学入試課宛に郵送してください。

【必要書類等】

- ① 個人別成績開示申請書(本要項の巻末・必要事項を記入)
- ② 本学受験票
- ③ 現住所確認書類(住民票、保険証(写)、運転免許証(写)、公共料金の領収書(写)のいずれか)
- ④ 返送用封筒(長3封筒に392円分の切手を貼り、志願者本人の住所氏名を記入)

※他の入学試験と同時に開示を申請する場合は402円分の切手を貼る

【個人別成績開示申請先】 長岡造形大学 入試課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include various industries like 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

Table with 4 columns: 業 (Industry), 工 (Occupation), 播 (Broadcasting), と (Name). Rows include 業 21876A, 業 21879A, etc.

高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定、在外教育施設、専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者
52000E	大学入学者資格検定	大学入学者資格検定に合格した者
53000A	外国の学校等	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの者
54000F	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アピトケア資格取得者、バカロレア資格(フランス共和国)取得者等
55000A	認定	大学において、個別の入学者資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの
56000G	在外教育施設	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、当該者をその後に入学させるものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	文部科学大臣が高等学校の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者

川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農	川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農	川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農
丸 46301G 島 46390D 子 46397A 業 46334C 上 46345J 山 46385H 上 46321A 師 46113A 師 46359J 船 46395E 島 46364E 川 46111D 編 46374B	之 女 田 入 大 飯 久 入	丸 46301G 島 46390D 子 46397A 業 46334C 上 46345J 山 46385H 上 46321A 師 46113A 師 46359J 船 46395E 島 46364E 川 46111D 編 46374B	之 女 田 入 大 飯 久 入	丸 46301G 島 46390D 子 46397A 業 46334C 上 46345J 山 46385H 上 46321A 師 46113A 師 46359J 船 46395E 島 46364E 川 46111D 編 46374B	之 女 田 入 大 飯 久 入
川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農	川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農	川 47152G 陽 47144F カ 47161F リ 47104G 東 47155A 念 47102A 谷 47142K 林 47134J 林 47145D 城 47108K 護 47150A 工 47163B 新 47103J 隆 47127F 隆 47122E 西 47159D 林 47128D 林 47139K 林 47133A 原 47141A 原 47143H 名 47109H 名 47118G 山 47116A 林 47135G 林 47112H 志 47107A 業 47146B 業 47129B 古 47120J 業 47130F 科 47164A 科 47125K 部 47116A 部 47121G 林 47138A 林 47137C 明 47147A 勝 47148J 谷 47111K	志 商 川 志 里 志 部 商 見 農 見 城 護 商 期 工 期 商 期 工 期 商 期 工 期 農 風 天 土 土 部 農 和 農 里 工 古 工 総 実 合 合 能 工 重 重 重 重 山 山 農 農 明 農 勝 農 谷 農

推薦入学試験 模擬問題

小論文 90分

- 受験者が持参するもの：筆記具（HBまたはBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）
- 大学で用意するもの：解答用紙、草案用紙

模擬問題 1

※この問題は平成27年度推薦入学試験で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の文章を読んで、ものづくりにおける『日本らしさ』とはどんなものであるか、あなたの考えを800字以内（句読点は文字数に含む）の小論文としてまとめなさい。但し、回答に際しては、ふさわしいと考えられるキーワード1語を各自想定し、それをういた題名を解答用紙の1行目に記しなさい。また、題名の「キーワード」を四角で囲むこと。なお、各自が想定するキーワードに「美意識」、「(お)もてなし」の語は除外する。

美意識は資源である

掃除をする人も、工事をする人も、料理をする人も、灯りを管理する人も、すべて丁寧に篤実に仕事をしている。あえて言葉にするなら「繊細」「丁寧」「緻密」「簡潔」。そんな価値観が根底にある。日本とはそういう国である。
(中略)

こうした普通の環境を丁寧にしつらえる意識は作業をしている当人たちの問題のみならず、その環境を共有する一般の人々の意識のレベルにも繋がっているような気がする。特別な職人の領域だけに高邁な意識を持ち込むのではなく、ありふれた日常空間の始末をきちんとすることや、それをひとつの常識として社会全体で暗黙裡に共有すること。美意識とはそのような文化のありようではないか。

ものづくりに必要な資源とはまさにこの「美意識」ではないかと僕は最近思いはじめている。これは決して比喩やたとえではない。ものの作り手にも、生み出されたものを喜ぶ受け手にも共有される感受性があるからこそ、ものはその文化の中で生まれ成長する。まさに美意識こそものづくりを継続していくための不断の資源である。しかし一般的にはそう思われていない。資源といえば、まずは物質的な天然資源のことを指す。

日本は天然資源に恵まれないので、工業製品を生み出すために高度な「技術」を磨いてきたと言われる。戦後の高度経済成長は、そのような構図でもものづくりを進めてきた成果である。世界はそう認識しているし、日本人もそう思ってきた。戦後の日本が得意とした工業生産は「規格大量生産」、つまり均一にたくさん製品を作ることとをきわめて安定した水準で達成することであった。また、製品を小型化する凝縮力のようなものがそこに働いて、日本の工業製品の優位をより鮮明に示すことに成功した。日本の生産技術は、量を前提とした品質と、緻密さや凝縮性を工業製品として体現した結果、世界からの高い信用を獲得したのだ。

しかしながら、ここで言う「技術」とは、言い換えれば繊細、丁寧、緻密、簡潔にものづくりを遂行することであり、それは感覚資源が適切に作用した結果、獲得できた技の洗練ではないか。つまり、今日において空港の床が清潔に磨きあげられていたり、都市の夜景をなす灯りのひとつひとつが確実に光を放つことと背景にある同じ感受性が、規格大量生産においても働いていたのではないかと考えられる。高度な生産技術やハイテクノロジーを走らせる技術の、まさに先端を作る資源が美意識であるという根拠はここにある。

※引用のため、一部文章を変更している。

原研哉 「日本のデザイナー—美意識がつくる未来」岩波新書 2011年より

模擬問題 2

※この問題は平成 28 年度推薦入学試験で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の文章を読み、あなたの考える「デザインの原形」について 800 字以内（句読点は文字数に含む）で論じなさい。

デザインの原形とは「類」（似かよったものたち）や「種」（物の分類の基本単位）の元を成すもので派生（枝分かれしたもの）ではない。また、原形とはオリジナリティ（独創的なもの）とも少し違う。オリジナリティは独自であることが目的で、それは作者の個性や主観的意思の表れである。原形は作者が探し出した必然である。それが必然であることは、そのものが長い年月で生かされ、生活に溶け込んできたことで実証される。それらはまるで、急な登山道で誰もが無意識につかまってしまう木の枝や岩の角のような、成るべくして成った存在である。

原形たるデザインからは、作者がその原形を探し出そうと試みる姿勢が見えてくる。それは作者自らの個性を表現しようとする意欲や取り組みの姿勢とは異なるものである。作者はその原形を探し当てた瞬間、同時にそれが長い年月でこれから存在していく生活の中の姿を俯瞰からとらえている。ものにだけ集中せず、周りとの関係を見ている。原形の意味を知る者は、つくり出そうとするのではなく、生活の背景になり、人の行為にはまり込む必然を探し出そうとしている。原形となりうるデザインには時代の流れや一時の刺激に迎合されない強さと自由度がある。しかし、刺激や個性もデザインである。現われてはすぐ消える短命のものたちも、時代の輝きをつくり出している。原形たるデザインだけをよいデザインと称しているのではない。むしろ原形たるデザインは一時（いつとき）の刺激や輝きを放つものたちの背景となって、それらをより際立たせる力がある。それは時代と共に移り変わる人の心理が回帰するよりどころでもある。

日本デザインコミッティー 『デザインの原形』 六耀社 2002 年より

入学試験に関する問い合わせ
長岡造形大学 入試課

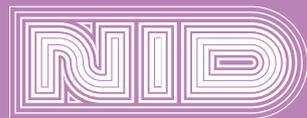
[受付時間] 月～金 8:30～17:00 (土・日・祝を除く)

[大学休業期間] 平成28年8月13日(土)～平成28年8月21日(日)
平成28年12月28日(水)～平成29年1月3日(火)

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343

E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design